

2022年3月期

第3四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

JQ 2488

2022年2月8日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

I. 事業概要	P 3～ 4
II. 2022年3月期 第3四半期決算実績	P 5～14
III. 今後の取り組み事項	P15～23
IV. 第一次中期経営計画の進捗と変更点	P24～28
V. 参考資料	P29～33

I. 事業概要



売上高事業構成



デジタル イノベーション

売上高 632百万円
売上高構成比 12.5%

・新規事業セグメント (AI、RPA、ロボティクス)

教育ソリューション

売上高 456百万円
売上高構成比 9.0%

- ・海外メーカーやサービスベンダの市場参入にともなうエンドユーザー向けの技術トレーニング事業請負
- ・当社独自のICTの最先端技術トレーニングの提供
- ・スキルの棚卸しから不足するスキルを補う教育までのサイクルを総合的にコンサルティングする人財コンサルティングサービス

ライフサイエンス サービス

売上高 898百万円
売上高構成比 17.7%

- ・医療機器、化学分析装置などの据付、点検、校正、修理等の保守サービス

西日本 ソリューション

売上高 747百万円
売上高構成比 14.7%

西日本ソリューションの定義：
愛知から以西（岐阜・福井を含む）の顧客取引を示す

2022年3月期
第3四半期 売上高

5,072百万円

ICTソリューション

売上高 2,338百万円
売上高構成比 46.1%

- ・ICTシステムの設計・構築・運用・保守サービス
- ・製造支援サービス



II. 2022年3月期 第3四半期決算実績



2022年3月期 第3四半期 決算のポイント



- ✔ 前年同期比で増収増益、前々期比（コロナ前）では増収減益
- ✔ 増収要因は、デジタルイノベーションセグメントのセキュリティ大規模案件の受注が寄与、来期以降も継続
- ✔ 利益面では、ICTソリューションセグメントの利益率回復が寄与
- ✔ 半導体不足による納期遅延、急激な物価上昇による投資抑制などネガティブ要素を勘案し、通期業績予想は据え置き

2022年3月期 第3四半期 決算サマリー



➤➤ コロナ影響を受けた前期より増収増益となったものの、前々期比（コロナ前）では増収減益

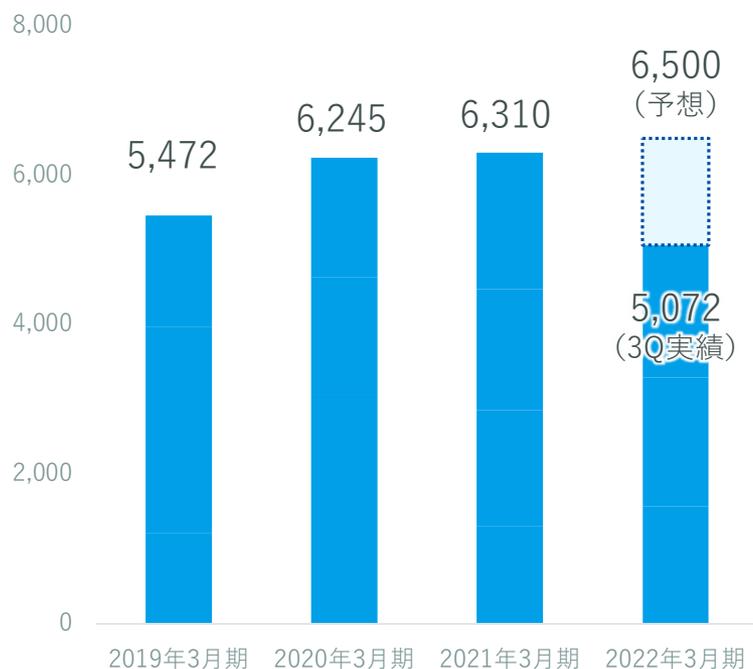
	2021年3月期	2022年3月期			
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
(単位：百万円)					
売上高	4,482	5,072	113.2%	6,500	78.0%
営業利益	160	262	163.7%	420	62.4%
経常利益	178	283	159.0%	435	65.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	112	125	111.6%	261	47.9%

通期売上高・営業利益推移

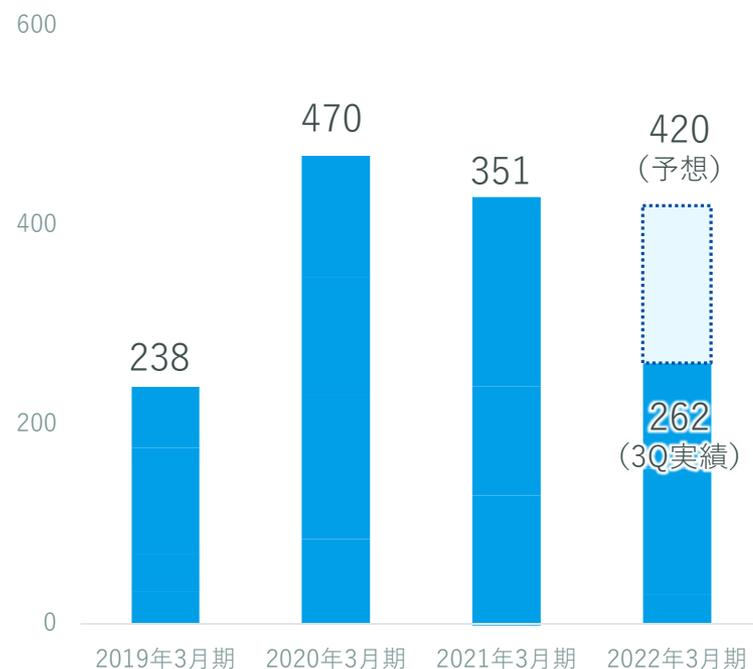


➤➤ 2022年3月期通期の売上高は、過去5期の中で最高となる見込み

通期売上高（百万円）



通期営業利益（百万円）



各事業セグメント売上高



➤➤ デジタルイノベーションが大幅増、ライフサイエンスサービスも案件増加

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
教育ソリューション	491	456	92.7%	666	68.5%
ICTソリューション	2,332	2,338	100.3%	2,993	78.1%
西日本ソリューション	680	747	109.7%	1,110	67.3%
ライフサイエンスサービス	716	898	125.3%	1,077	83.4%
デジタルイノベーション	260	632	242.6%	644	98.1%
その他	0	0	-	8	0%
合計	4,482	5,072	113.2%	6,500	50.8%

各事業セグメント営業利益



➤➤ ICTソリューションが牽引、西日本ソリューション、ライフサイエンスサービスも続伸

(単位：百万円)

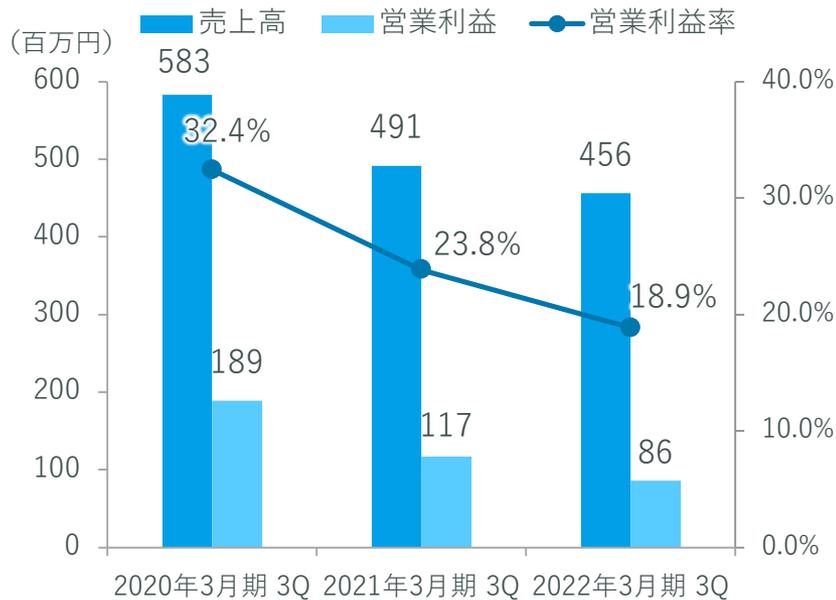
	2021年3月期	2022年3月期			
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
教育ソリューション	116	86	74.1%	174	49.4%
ICTソリューション	375	438	117.0%	585	74.9%
西日本ソリューション	120	159	132.1%	179	88.8%
ライフサイエンスサービス	56	86	154.2%	116	74.1%
デジタルイノベーション	△75	△27	-	△54	-
その他	△19	△12	-	△19	-
全社	△413	△468	-	△562	-
合計	160	262	163.7%	420	62.4%

セグメント別業績推移（教育ソリューション/ICTソリューション）



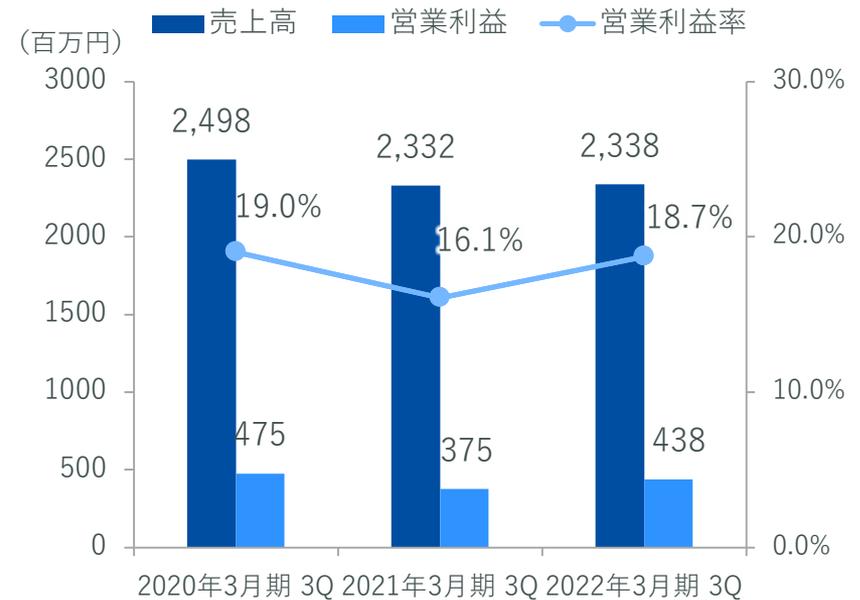
教育ソリューション

コロナウイルス感染拡大の長期化に対し、
ビジネスモデルを転換中であり、
来期での回復を見込む



ICTソリューション

ベンダー・Sierからの（2次）請負に
依存せずに、エンドユーザとの直接取引
拡大をはかった事で収益改善

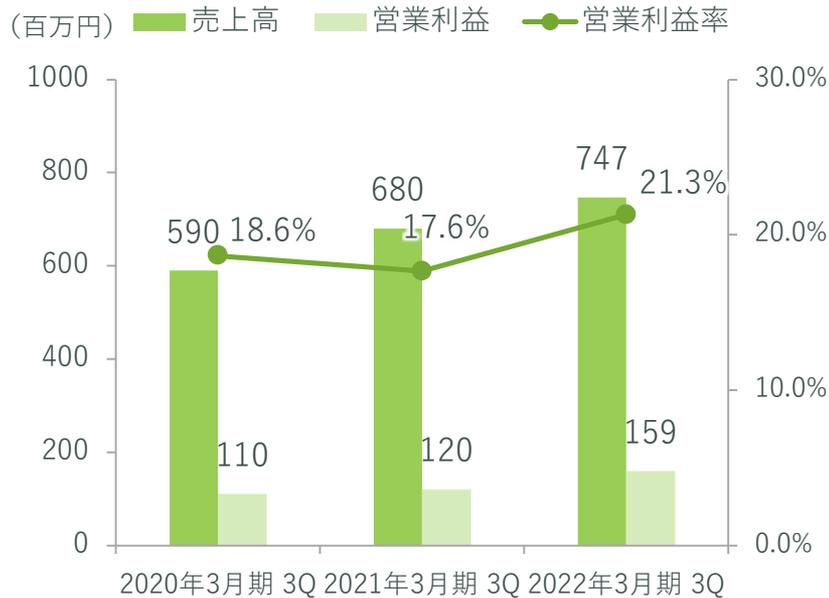


セグメント別業績推移 (西日本ソリューション/ライフサイエンス)



西日本ソリューション

ICT運用案件の受注拡大が寄与
今後も更なる拡大をはかる



ライフサイエンスサービス

医療機器関連、分析機器関連の両分野で、
スポット案件受注獲得により大幅な増収、
利益率の向上に取り組む方針





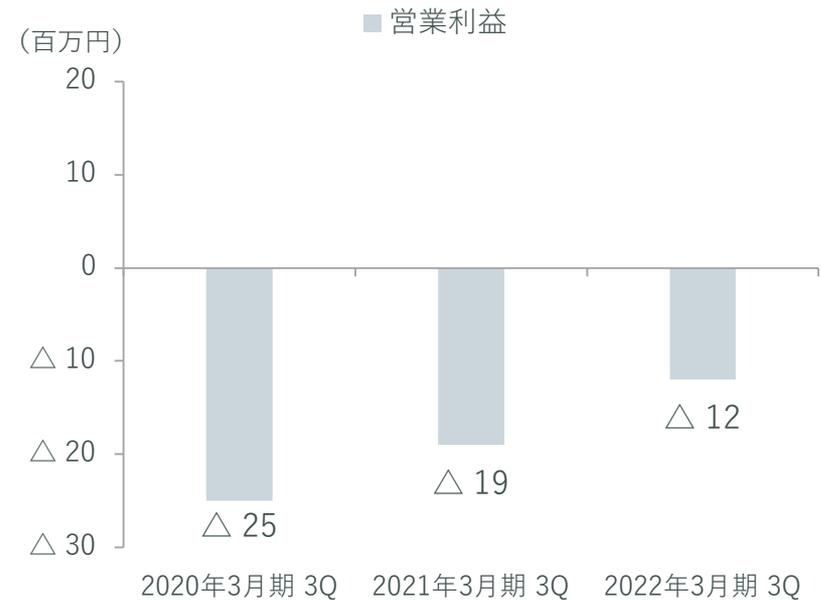
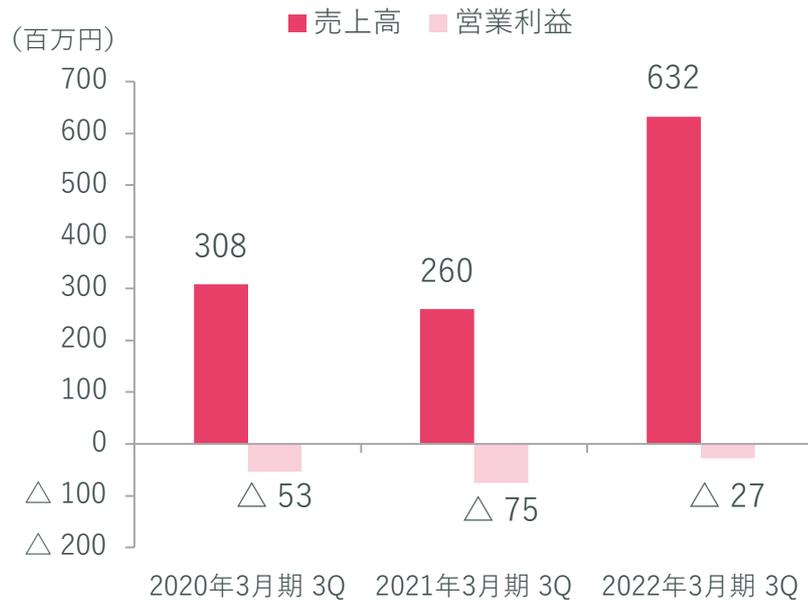
セグメント別業績推移 (デジタルイノベーション/その他)

デジタルイノベーション

セキュリティ案件の拡大に加えて
ThirdAI案件の受注増により大幅な増収
赤字幅も縮小

その他

インドにおける
マーケティング活動を継続



2022年3月期 注力事業の進捗状況



ユーザー企業向けのクラウド移行支援サービス「Kyrios」の拡大

拡げる

新規受注9社／目標50社受注

小売業及び病院向けソリューションサービスの創出

創る

小売業及び病院向けソリューションサービスを下期にリリース予定

テレワーク需要に対応したセキュリティ事業の拡販

守る

セキュリティ関連商材の受注が拡大

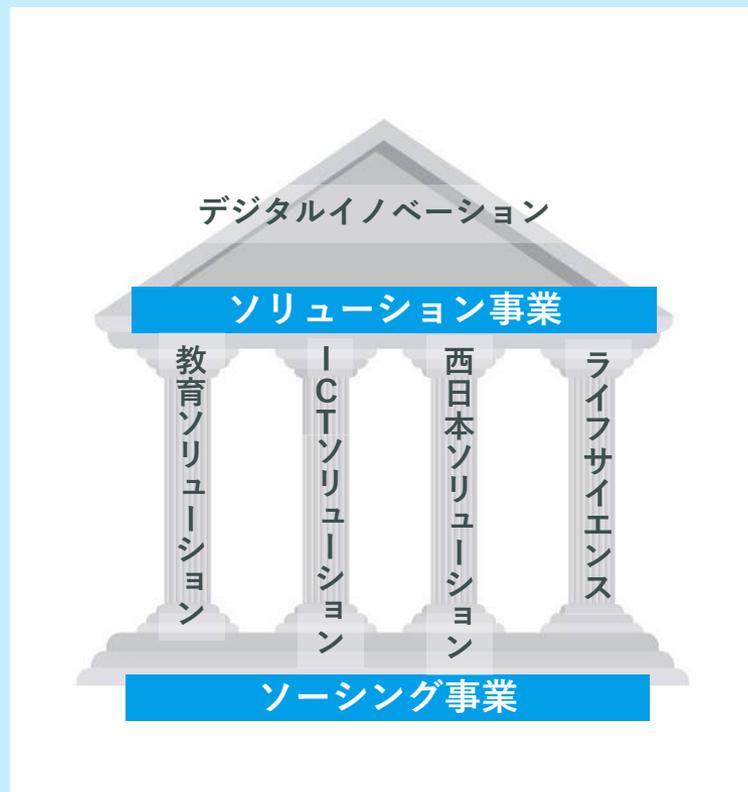
パラメディックサービスの体制強化

掘り
下げる

医療現場でのDX推進サポート

Ⅲ. 今期の 取り組み内容と実績





ソリューション事業強化

エンドユーザ課題に特化した
自社ソリューション

ソーシング事業深化

川上から川下まで
トータルサポート



Kyrios が求められる背景

クラウドコンピュータは簡単に利用できる反面
安心して使い続けるには専門的な技術・ノウハウが必要

コンピュータリソースは
所有から**利用**の時代へ





Kyrios システム運用サービス

エンドユーザ企業のオンプレミス(所有)からクラウド(利用)への移行支援
お客様のクラウド環境を安全・安心して利用継続するため
クラウド技術者による専門的なITサービスを提供します

Kyrios 特長

- 主要クラウドサービスに対応
- クラウド構築から運用まで提供
- ミニマムスタート可能
(1インスタンスから提供)
- 24時間365日 サービス提供





Kyrios for テレワーク

お客様は端末をクラウドに接続するだけで
安心・安全に在宅勤務(テレワーク)が可能に

Kyrios for テレワーク特長

- クラウド型仮想デスクトップ提供
- Webアクセス管理の提供
- ユーザ端末の証跡管理の提供
- 24時間365日 サポート





内部脅威対策

コロナ禍による在宅勤務（テレワーク）により内部不正による情報漏えいのリスクに対策するニーズが高まっています



内部不正による情報漏えい事例

- ◆ 2020年 1月：ソフトバンク
従業員が金銭目的で情報の持ち出し
- ◆ 2020年10月：積水化学工業
社内評価を高めるため秘密情報の漏えい

出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威 2021」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2021.html>



リモートワークにおけるセキュリティソリューション

内部不正による情報漏えいを対策するソフトウェアを
クラウド型のサービスにして販売
セキュリティ専門家による監視・運用サービスも併せて提供開始

Proofpoint ITM

(内部不正対策ソリューション)

- 販売パートナー契約
- パートナアワード受賞
- クラウドサービス提供開始

Ekran

(内部不正対策ソリューション)

- Ekran for Cloud リリース
- ジュピターテクノロジー社との協業発表

セキュリティ運用サービス

- SoC (セキュリティオペレーションセンター)
- MSS (マネージドセキュリティサービス)

ソリューション事業 セキュリティ 「Proofpoint ITM」

2021年12月、内部不正による情報漏えい対策「Proofpoint ITM」の提供を開始

内部不正リスクの高いユーザーを素早く特定
迅速な対応により、情報漏えいを防ぎ、ユーザーと組織を保護



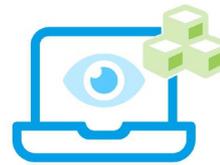
リスクの可視化

独自に行動を分析・スコアリングし、内部不正リスクの高いユーザーを特定



プロアクティブな対応

高リスク行動を検知した際、アラート表示などを通して重大インシデントを未然に防止



軽量なエージェント

容易に展開可能な、軽量エンドポイントエージェントで、ユーザーの生産性を維持



インシデント管理の効率化

高度な分析機能とシンプルなユーザーインターフェースで、迅速な対応が可能

ICT ParaMedic サービス



医療現場の課題をICTで解決に導く

ライフサイエンス × ICT の知見から医療現場のDX推進を実現

ICT ParaMedic サービス特長

- エンジニア巡回型常駐支援
- 最新の海外医療機器の輸入代行
- 看護師負荷軽減サービス



関東地区の中核病院にてサービス展開中

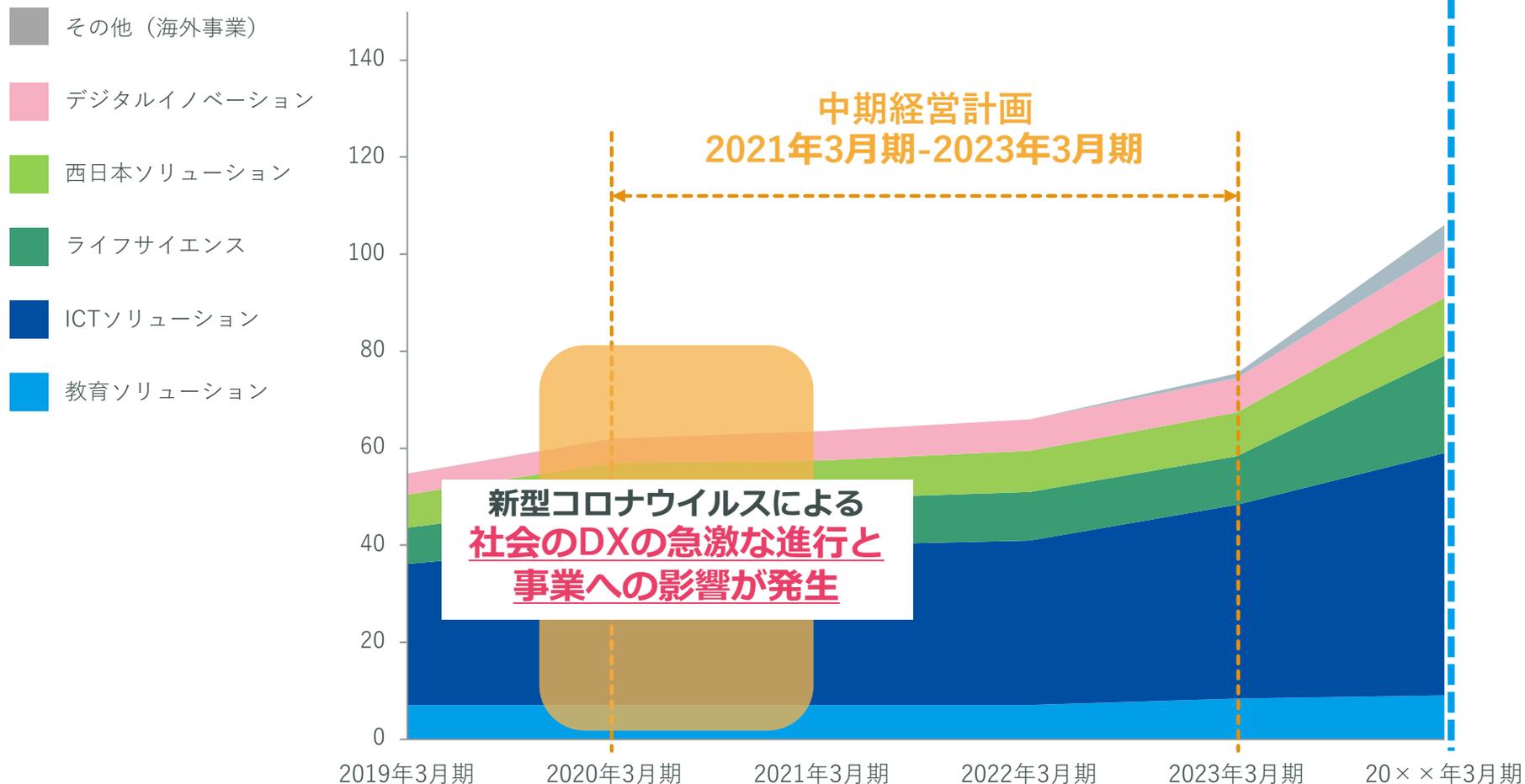
IV. 第一次中期経営計画の 進捗と変更点

第1次中期経営計画の位置づけ（再掲）



長期目標

営業利益 **10** 億円



第1次中期経営計画の概要（再掲）



第1次中期経営計画(2021/3→2023/3)

基本方針（長期目標）

労働集約型ビジネスから

知識集約型ビジネスへの転換をはかることで

中長期で **営業利益10億円** を目指す

➤➤ 最終年度目標

売上高

67-70 億円

営業利益

5.5-6.9 億円

第1次中期経営計画の概要（再掲）



第1次中期経営計画(2021/3→2023/3)

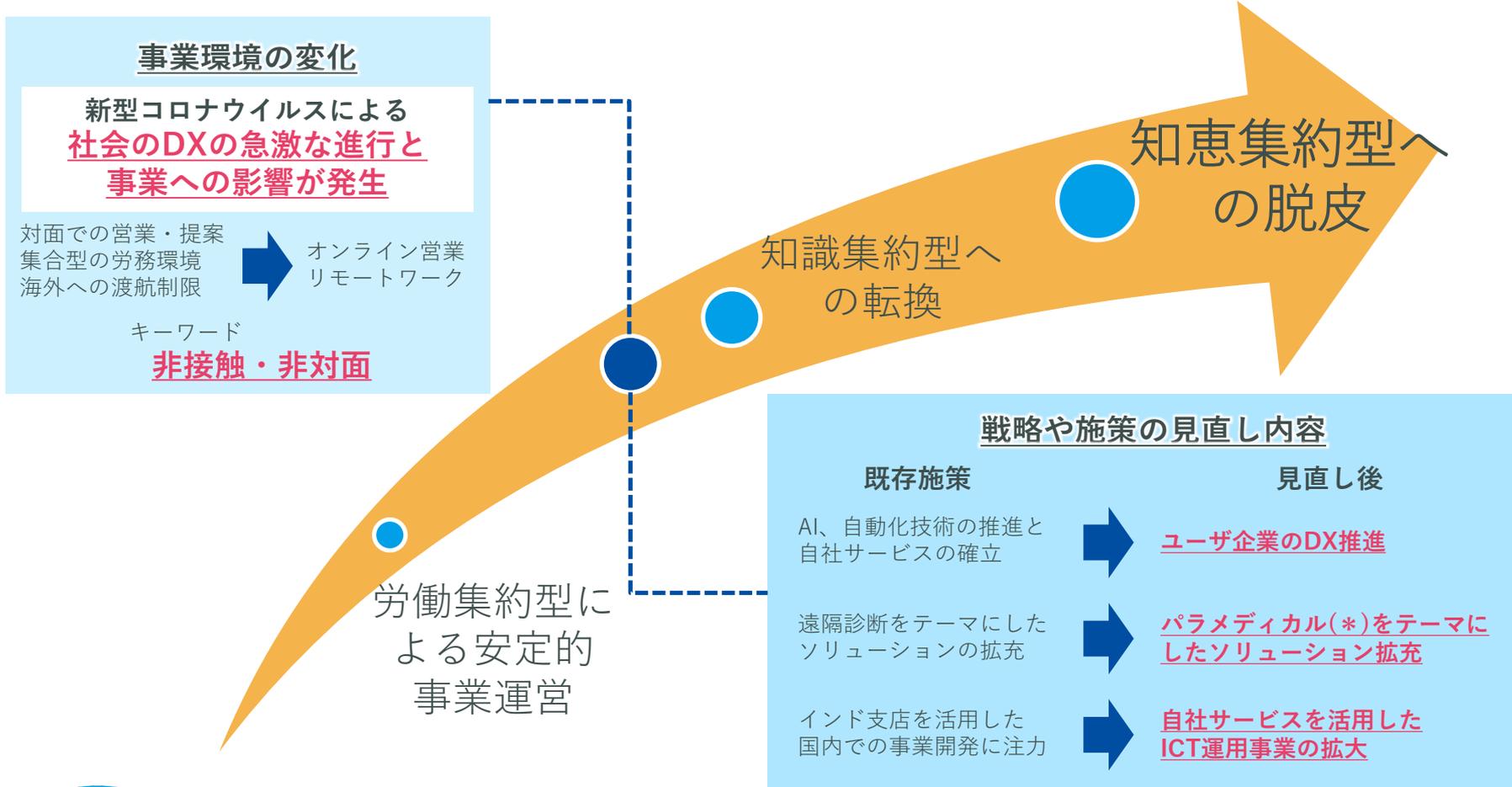
新型コロナウイルスによる
社会のDXの急激な進行と事業への影響が発生したが
最終年度の計画に変更はなし

(単位：百万円)	2021年3月期 実績 計画	2022年3月期 予想 計画	2023年3月期 計画
売上高	63 62~65	65 65~67	67~70
営業利益	3.5 4.0~4.5	4.2 4.6~5.0	5.5~6.9

事業環境の変化と戦略の見直し（一部更新）



前提となる事業環境の変化を考慮し新たなステージである
“知恵集約型”のビジネス形態への飛躍を図る



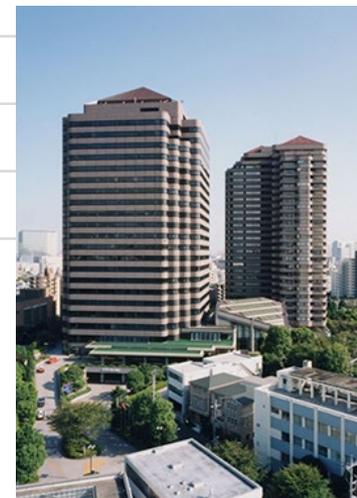
参考資料



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	東京(本社)、大阪、福岡、愛知、栃木
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	425名 (2021年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー LINE 公式パートナー IBM Silver Business Partner SoftBank AIエコシステム・パートナー



財務データ推移



(単位：百万円)

	2011/03	2012/03	2013/03	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	5,156	5,164	4,597	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310
売上原価・ 営業原価	4,702	4,500	3,885	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197
売上総利益	453	663	711	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112
販売費及び 一般管理費	486	551	649	672	582	587	707	749	824	775	761
営業利益	△32	111	61	81	177	237	195	251	238	470	351
経常利益	△40	102	58	89	191	234	136	258	247	483	382
親会社株主に 帰属する当期 純利益	△145	△32	1	14	90	81	3	184	154	309	267

直近5期指標推移



直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



※出所：NIR提供データを弊社にて加工

ROA（総資産利益率）

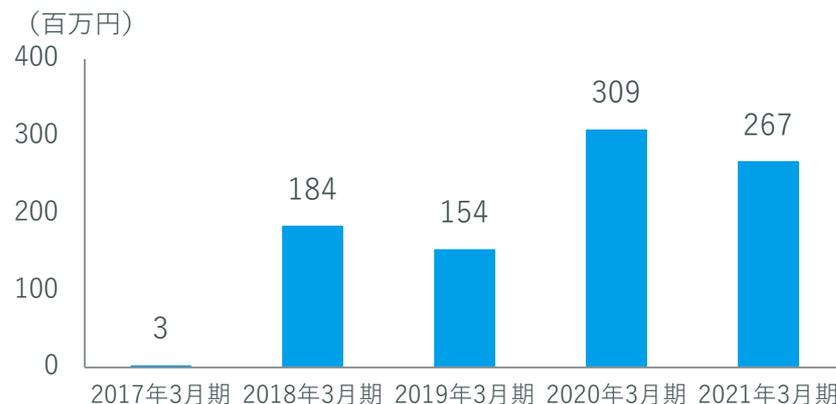


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



Connect to the Future

JTP 株式会社 JQ 2488

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.